

銀座でひととき目立つランドマークであり、歴史に名高い歌舞伎座は東京にある施設です。1889年に開場した日本最大の歌舞伎劇場で、歌舞伎の伝統に特化した唯一の劇場だということです。壮大な建物は幾度かの改装を経てきましたが、2013年に完成した最近のリニューアルは、日本の人気建築家である隈研吾氏が手掛けました。建築的に、奈良時代（600年～794年）と桃山時代（16世紀後半）といった日本の歴史上重要な2つの時代の建築様式を取り入れた象徴的な建物です。

歌舞伎座は、東京における歌舞界のなかでもっとも重要な建物といって良いでしょう。堂々とした風格を持つ壮大な劇場には、由緒ある日本の模様やデザインの装飾が施されています。一般的な座席は3階にわたって配置されており、ボックス席がある上、4階には割引料金で一つの幕だけ鑑賞したい人向け的一幕見席が設けられています。劇場では、公演の解説や、背景、あらすじの説明のほか、英語での字幕を表示する翻訳機器をレンタルすることができ日本語を話さない人も鑑賞しやすくなります。

歌舞伎の殿堂としての歌舞伎座は、ただの劇場ではありません。建物内にはレストランもあるため、長めの食事休憩（事前予約要）の間に食事を楽しむことができます。たとえ公演を鑑賞しなくても、地下2階で歌舞伎関連のお土産を購入したり、5階にある歌舞伎タワーに行くこともできます。さらに、歌舞伎座ギャラリーも訪れてみましょう。ここでは、実際に触ったり遊んだりできる舞台のセット、衣装、小道具も展示されています。ギャラリーの外は屋上庭園担っており、銀座のスカイラインをお楽しみいただけます。